

あたたかい心の交流

― 祖父母学級 ―

笠松小学校では、母親委員会
が中心となって毎年祖父母学級
を行っております。まず、児童
の授業の様子を参観していただ
いた後、講堂にて「お迎えする
会」に出席していただきます。
会はず、PTAコーラスクラ
ブと職員による歌の発表です。
青い山脈、銀座カンカン娘など
皆さんよくご存知の懐かしい曲
です。祖父母の皆さんも一緒に
楽しく歌っていただけました。
次は、五年生による小菊の発表
です。笠松小学校の自慢のひと
つである「根気よく生き物の世
話をします」という取り組みの

もと、五年生になると一人ひと
り小菊を自分の鉢で育てます。
六年生になると「菊づくり」と
いう伝統行事に取り組みますが
小菊の栽培はその前の学習とし
て成果を上げております。児童
たちは、春に土づくりから始め
挿し芽を行い、六月中旬には鉢
上げ、そして休日や夏休み中も
五、六人の当番で朝、夕の水

かままつの子

笠松町道德教育連絡会議



やりに取り組みます。そして、
大切に育てた小菊は、まだつぼ
みしかついていないもの、立派
な花がいくつも咲いているもの
さまざまですが、祖父母学級に
出席していただいたお礼に、お
土産としてお渡ししております。
皆さん笑顔で受け取ってください
り、子どもたちもほんとうに嬉
しそうです。自分で大切に育
てたものが認められ、喜ばれる。
そんな感動をこの祖父母学級で
経験する事ができ、子どもたち
も一つ成長できたと思います。

笠松小 PTA

教育委員会
だより

見つめ直して見ませんか 12月4から10まで人権週間

「人権感覚を磨く」とか、
「しっかりとした人権感覚
を身に付ける」という言葉
をよく耳にします。具体的
にはどうということなのでし
ょうか。

実は、何も難しいことで
はありません。自分の言動
を自分自身が意識するかと
うかだけなのです。

例えば、皆さんの周りで
こんな会話を耳にしたこと
はありませんか。

「これだから女は…。」

「最近中国人が街に多くて
イヤだわ…。」

「この辺りは〇〇だから気
をつけたほうがいい。」

耳を覆いたくなるような
これらの言葉は、自分自身
が「相手を思いやる」と
いうことを意識していれば、
決して発せられるはずのな
い言葉です。もう少し身近
なことでは話をするなら、点
字ブロックの上に自転車
を置いたり、身体障害者用の

駐車場に車を止めたりする
行為は、私たち一人ひとりが
ほんの少し気配りの心を
高めれば無くなっていく行
為なのではないでしょうか。

子どもたちは学校で差別
や偏見についての教育をし
っかりと受ける機会が多く、
おのずと人権感覚は磨かれ
ていきます。それに反して
大人はというと、そのよう
な機会が少ないばかりか、
そういった講演なり研修会
なりには限られた人数しか
行くことができず、結果的
に機会を逃す人の方が多い
現状があります。

どうかすると自分の都合
で物事を考えがちとなり、
周りを不快にさせたり、と
もすれば人を傷つけたりし
ている自分がいるかもしれ
ません。この『人権週間』
を機会に、今一度自分の人
権感覚を振り返ってみては
いかがでしょうか。